

5	骨粗しょう症検診
---	----------

1 概 要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨で音響的骨評価値を測定した。

2] 判定基準

		異常認めず	要 指 導	要 精 検
音響的骨評価値 ($\times 10^6$)	男	2.630以上	2.351 ~ 2.629	2.351未満
	女	2.428以上	2.158 ~ 2.427	2.158未満

2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要指導 (%)	要精検 (%)
男	19歳以下	1 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)
	20～24歳	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	25～29歳	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	30～34歳	7 (57.1)	2 (28.6)	1 (14.3)
	35～39歳	4 (50.0)	2 (50.0)	0 (0.0)
	40～44歳	4 (75.0)	0 (0.0)	1 (25.0)
	45～49歳	6 (83.3)	0 (0.0)	1 (16.7)
	50～54歳	12 (58.3)	1 (8.3)	4 (33.3)
	55～59歳	10 (50.0)	2 (20.0)	3 (30.0)
	60歳以上	43 (32.6)	20 (46.5)	9 (20.9)
計	92 (48.9)	28 (30.4)	19 (20.7)	
女	19歳以下	1 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)
	20～24歳	8 (75.0)	2 (25.0)	0 (0.0)
	25～29歳	17 (76.5)	4 (23.5)	0 (0.0)
	30～34歳	6 (83.3)	0 (0.0)	1 (16.7)
	35～39歳	11 (81.8)	2 (18.2)	0 (0.0)
	40～44歳	34 (85.3)	5 (14.7)	0 (0.0)
	45～49歳	59 (74.6)	15 (25.4)	0 (0.0)
	50～54歳	85 (70.6)	20 (23.5)	5 (5.9)
	55～59歳	98 (52.0)	35 (35.7)	12 (12.2)
	60歳以上	263 (23.6)	151 (57.4)	50 (19.0)
計	582 (47.9)	235 (40.4)	68 (11.7)	
総 数	674 (48.1)	263 (39.0)	87 (12.9)	

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受診者数	385	511	511	501	674
要精検率 (%)	16.4	13.1	13.9	15.6	12.9